



2021-2022
国際ロータリーのテーマ

高萩ロータリークラブ

TAKAHAGI
ROTARY CLUB
WEEKLY

国際ロータリー第2820地区
1970年10月30日設

発行
2021.11.10
第52巻
第14号
通巻
2435号

ロータリー月間 今月:ロータリー財団 来月:疾病予防と治療 月間

11月3日例会より

『海岸美化プロジェクト ロータリー奉仕デー』

ごくろうさまでした

伊師浜海岸清掃奉仕 大盛会でした

第7分区の皆様、遠路、県北へようこそ

第1分区との協働奉仕活動の大結集でした



伊師浜海岸に集合、開会式に臨む。後方 鵜の岬

右上の目標をかかげ、世界に呼びかけ、去る9月12日実施から2度延期し、文化の日の本日、開催にこぎつけた。

久しぶりの秋日和、晴天に恵まれ、取手 RC を始め、第7分区6クラブの皆さんが遠路参加し、第1分区県北7クラブとともに、協働奉仕作業を実行、大盛会のうちに、11時30分終了することができた。

高萩 RC からは、会員、米山奨学生、家族、関係者等総勢、35名が参加し、去る7月4日高萩海岸以来の海岸清掃となった。



上、国際ロータリーにも呼び掛けたポスター

会場準備と開会式

伊師浜海岸は、海水浴場と、北に延びる白砂青松の海岸と、南隣には国民宿舎「鵜の岬」があり、駐車場も整備されているので都合よく好天に恵まれ、早朝、8時過ぎから、テントを張って、準備を開始続々と集合、10時に開会式、11時30分には閉会式となって終了した。

開会式では主催者を代表し、第1分区鈴木稔ガバナー補佐より冒頭の挨拶。その後、約1km北方の海浜から活動を始めた。



左は閉会式での第7分区根本清美ガバナー補佐(牛久RC)の総括のあいさつである。

月 日	プログラム	担 当	11月3日 出席報告		
11月10日	ロータリー財団卓話	ロータリー財団委員会	会員数	出席者	欠席者
11月17日	公共イメージ向上フォーラム	公共イメージ向上委員会	32	17	12
11月24日	国際奉仕フォーラム	国際奉仕委員会	出席率: 100 %		
12月1日	年次総会	会長	前々週訂正: 100 %		

事務所: 〒318-0033 高萩市本町2-65
常陽銀行高萩支店内 TEL/FAX: 0293-24-0505

■URL: <https://www.takahagirc.jp>

■E-Mail: takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長: 鈴木直登
幹 事: 福田文乃

例 会: 毎週水曜日 12:30~13:30

公共イメージ委員: 小森勇一 大河原浩 大高司郎
棚谷稔 田所和雄 石平光 今川隆 大平敏明 滝徳宗

四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

砂浜に漂着しているごみ、人工物をひろう



高萩方向に広がる砂浜でゴミ、人工物をひろう

開会行事の後、各クラブの担当区域に移動、北茨城RCと牛久RCの皆さんが本部から約1kmの北側に、高萩RCと竜ヶ崎RCの皆さんは其の南側、およそ、100mを目安に担当し、早速活動を開始した。



高萩RCの家族の皆さんも参加、協力して活動



日立北ロータリークラブから親子で参加、熱心にごみを拾い集めている。

牛久ロータリークラブから参加したお父さんとお子さん、広い砂浜で明るく元気いっぱい。

大会本部で、軍手を参加者に提供し、ごみを集める道具を用意、



道具は、これからも使用する予定である。

広々とした伊師浜海岸は、どこまでも白砂青松の景観でゴミも少ないように見えるが、よく見ると沢山のごみを発見する。

空き缶、すり減ったプラスチック、ちぎれた漁網などは、特に目立っている。



上の写真は、第7分区の方がつまんで見せてくれたが、黄色くなったエビの殻のように見えたがよく見ると、柔らかい、合成ゴムか、プラスチックで作られたものと分かった。海釣りをするときの疑似餌ではないかと話し合った。



こんな色鮮やかなゴミではなく、上の写真のように黒い乾燥した海藻と同じ色で、ちぎれた漁網が円く絡まっているものなど、沢山打ち上げられていた。これは、プラスチックである。

国民宿舎「鵜の岬」のある区域は、国民休暇村に指定されており、茨城県が庭園管理をしている。今回ロータリークラブが、海岸清掃プログラムを実施した伊師浜海岸は、そこに隣接している、自然が保全されている白砂青松の浜辺であるが、細かく見ていくと、沢山のゴミが、砂浜に漂着していることが、よくわかった。

台風シーズンには、また、大量のごみが漂着することでしょう。

プロジェクトに参加する会員と皆さん



3度目の延期で、参加者の変動があったが、当クラブからは、35名が参加した。会員、お孫さんを含めた家族、友人、関係者と多くの賛同を得ることができた。

なお、大高司郎地区クラブ奉仕総括委員長は、



大洗サンビーチ海岸の地区本部に詰めた。

なお、11月最初の例会であるので、米山記念奨学会奨学生の白静さんも参加し、海岸清掃に初めて取り組んだ。中国の内陸地帯出身で、大変貴重な体験だったようである。上は、鈴木直登会長平野浩司米山記念奨学会委員長（右）との記念写真である。



周辺に建物などが少ない、白い砂浜がどこまでも広がるこの海岸は、旧十王町を代表する観光地で、町民あげて保全活動が進められてきた。

日立市に統合されたが、高萩RCに在籍する4名の皆さんも参加した

写真中央 久保田滋会員



左の写真の本部テントの場所は、伊師浜海水浴場の中央部であり、そのすぐ後ろが広い駐車場になっている。

シーズン以外は施錠されているが、早朝より開場し、日立港RCの皆さんが誘導してくれた。

大人数の集まりであったが、混乱なく集合できたのが、大変良かった。



上は、11時30分作業が終了し、閉会式後の記念写真である。

ごみは分別されて、日立市許可車で搬送された。



本日は第7分区の皆さんと、合同作業であったが、終了後バスに乗車、約3時間の帰路。感謝し見送った次第である。上は牛久RCの皆さん。

敬弔 高萩ロータリークラブ名誉会員

大平 義雄 様

熱烈かつ模範的ロータリアンとして多年の御功績を称え、衷心より哀悼の意を表します。

お別れ会 2021年11月9日 11:00

会 場 やまとセレモニーホール



去る令和3年8月7日、享年94歳をもって、御逝去されました、高萩ロータリークラブ名誉会員、太平産業株式会社代表取締役会長 大平義雄 様のお別れ会が開催された。

上の写真は、昨年2020年10月25日、当クラブが創立50周年記念式典を開催したときのごあいさつである。

大平さんは、高萩RCの第2年度、昭和46年7月1日に入会、まさに当クラブの50年の歩みを支えてきました。

入会3年後、第5代花園教之会長の時に幹事となり、この年は、新年度が始まるとすぐに、7月24日より26日まで、「大心苑」で、第355地区のインターアクトクラブ年次大会が開催され、多くの来賓が訪れ、クラブの例会も急遽、高萩ビーチガーデンに変更し、大変でした。

この年は、また、田中健次郎ガバナーのもと、日立市小平会館で、11月16日第355地区の地区大会が開催された。当クラブは、日立南ロータリークラブとともに、コホストクラブとして協力した。

さらに年が明けると、3月29日、北茨城ロータリークラブが分離独立し、6名のメンバーが、チャーターナイトとして、北茨城RCに移動した。

そこで、その減員を補強するため、大平幹事、故天童博会員増強委員長が大活躍し10名の新会

員をお迎えし、記念すべき年となった。

時に、大平さんは47歳、会社が大変忙しい時代であったが、青年幹事として高萩ロータリークラブ発展の礎を築いたのである。

以後、1980-1981年度会長就任、1989年には、第255地区分区代理に就任した。

1988-1989年度地区青少年奉仕委員長として、ライラセミナーを「大心苑」で開催、同じく1992年ライラセミナーを大心苑で開催した。

大活躍と同時に、ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター、米山功労者としてとして、ロータリーに貢献して来た。

その上、竈と火吹き竹の昔からの家事から主婦を解放するという、会社の大目標ばかりでなく、子どもたち、青少年の健全育成に熱心に努められたことも特筆できることである。高萩市公民館、出身小学校へ図書の寄付、交換留学生のホームステイ等に尽力された

高萩ロータリークラブの50年の実績に多大な貢献をされましたことに、深甚なる敬意を表し、哀悼の意を表します。

萩っ子英語発表会

たかはぎFM放送始まる

国際ロータリーの補助金を活用して、有料の時間枠を提供してもらい、英語発砲会の放送を、10月24日（日）11:00～11:15まで放送した。12月まで、40名程度放送を継続したいと望んでいる。

3名の子供たちが、英語と、和訳の文章を発表した。現在、火曜日20:00から、土曜日18:00から再放送を行っている。



上は、去る10月31日、総選挙で市の会場が使用できず、太平産業本社2階会議室を特設スタジオとして、母親の見守る中、放送発表の収録を行ったところである。